

| | | | | | |
|--------------|--|--------------|------------|---|--|
| 試合番号 : 186 | 試合会場 : 有明コロシアム | 観客数 : 5,736 | | | |
| 開始時間 : 17:00 | 終了時間 : 18:37 | 試合時間 : 01:37 | 主審 : 新田 浩幸 | 副審 : 高橋 宏明 | |
| 東京グレートベアーズ | 通算 6勝 14敗 ポイント: 22 | 21 第1セット 25 | ウルフドッグス名古屋 | 通算 12勝 6敗 ポイント: 36 | |
| 監督コメント | 0 | 18 第2セット 25 | 3 | この度被災された皆様へ、心よりお見舞い申し上げます。1日も早く被災地の皆様が普段の日々を送れるようにお祈り申し上げます。救済活動にご尽力されている方々へ心からの敬意を表します。 本日の試合は相手の強いサーブで崩される場面がありましたが、試合中に対応することができたことは次へのステップアップだと思います。小さなことを改善することが重要だと思います。前を向き、ポジティブに一步一步前進できるように精進してまいります。 我々ウルフドッグス名古屋のファンの皆様、本日も熱い応援ありがとうございます。来週の試合は愛知ダービーとなります。ほんの少しでも元気を届けられるように、チーム一丸となって最後まで闘い抜きます。Enjoy the competition! | |
| | | 19 第3セット 25 | | | |
| | | 第4セット | | | |
| | | 第5セット | | | |
| | | | | | |
| 要約レポート | 今季最高観客数の歓声に沸くホームゲームで勝利したい東京グレートベアーズと、連勝したいウルフドッグス名古屋との一戦。 第1セット、序盤から終始角の戦いとなり、東京GBは後藤、笠利が鋭いサイド攻撃、WD名古屋はクレクのバブルスパイクで攻め合う。終盤、WD名古屋はリベロ小川のディグから山崎がスパイクを決めて勢いに乗ると、このセットを先取した。 第2セット、中盤まで一進一退の攻防が続くが、WD名古屋・王がクイック攻撃で連続得点すると、この試合でリーグ栄誉賞の表彰基準に到達した傳田がブロックを決め、高梨がスパイクとブロックを決めて23-17と東京GBを突き放す。東京GBも柳田、笠利のスパイクで応戦するが、最後はWD名古屋・高梨のサービスエースでこのセットを連取した。 第3セット、東京GBはアウトサイドヒッター戸倉をスターティングメンバーに起用、後藤が連続スパイク得点で試合の流れを作る。WD名古屋は固い守備からクレクの攻撃に繋ぎ、一歩リード。さらにリリーフサーバーの近がサービスエースを奪い、この試合を制した。 | | | | |

| | | | | | |
|--------------|--|--------------|-----------|--|--|
| 試合番号 : 187 | 試合会場 : ユメックスアリーナ (塩尻市総合体育館) | 観客数 : 678 | | | |
| 開始時間 : 13:00 | 終了時間 : 15:24 | 試合時間 : 02:24 | 主審 : 沢田 元 | 副審 : 原 啓之 | |
| VC長野トライデンツ | 通算 1勝 17敗 ポイント: 6 | 25 第1セット 23 | 東レアローズ | 通算 8勝 10敗 ポイント: 21 | |
| 監督コメント | 2 | 18 第2セット 25 | 3 | 今日の試合は、VC長野の攻撃がとてよく、我々の武器であるブロックが機能しなかったことがフルセットまでもつれる試合になったと思います。この苦しい展開の中で、途中出場した選手達がしっかり仕事をしてくれ、これがフルセット勝利につながりました。今週の試合で出た課題を修正し、次の試合に向けて準備して参ります。 2日間アウェーの中で試合でしたが、たくさんの応援ありがとうございました。 | |
| | | 27 第3セット 25 | | | |
| | | 19 第4セット 25 | | | |
| | | 10 第5セット 15 | | | |
| | | | | | |
| 要約レポート | 昨日に続き、ユメックスアリーナでのVC長野トライデンツと東レアローズの戦い。 第1セットはスタートから打ち合いとなった。東レは重藤、パダル、VC長野は中野、修を中心に攻撃する。後半3点差となったところでVC長野は中村を投入し突き離しにかかると、東レは富田が踏ん張り、もつれた展開に、VC長野・下川は勝負所で修にボールを集めるこのセットを取った。 第2セットはパダルの3連続得点から始まった東レが優位に試合を進める。VC長野は相手を崩しながらも、東レのフェイント攻撃に翻弄されなかなか追いつくことができない。東レはパダルの強烈なサーブと富田のアタックでこのセットを締めくくった。 第3セット序盤、東レの好サーブが目立つ。中盤東レ・酒井はパダルにボールを集めるがVC長野・下川は修にボールを集め譲らない展開。最後は中野がブロックを弾き、VC長野が27-25でこのセットを取った。 第4セット序盤、両チームセッターはトスを振り分け相手ブロックに的を絞らせない。東レがリードしてゲームを進めていくが、VC長野はトレントのブロックで13-13と追いつく。しかし、東レはパダルのアタック、高橋のアタック、ブロックなどでVC長野を突き離しこのセットを奪う。 第5セットはパダルと修の打ち合いの様相だったが、西本、富田のブロック、高橋の速攻など個々が持ち味を出した東レが、このセットを奪い勝利した。 | | | | |

| | | | | | |
|--------------|--|--------------|-------------|--|--|
| 試合番号 : 188 | 試合会場 : ジェイテクトアリーナ奈良 (奈良県立橿原公苑第1体育館) | 観客数 : 1,325 | | | |
| 開始時間 : 15:00 | 終了時間 : 17:00 | 試合時間 : 02:00 | 主審 : 千代延 靖夫 | 副審 : 上村 英紀 | |
| ジェイテクトSTINGS | 通算 7勝 10敗 ポイント: 21 | 22 第1セット 25 | 日本製鉄堺ブレイザーズ | 通算 10勝 7敗 ポイント: 29 | |
| 監督コメント | 1 | 25 第2セット 19 | 3 | 年末年始の時間を有意義に使い、しっかりと準備をして臨みました。第2セットを落とすと、チームとして立て直すことができたのは収穫でした。代わって入った選手も活躍してくれ、直本選手の誕生日を勝利で終えることができてよかったです。 本日も応援ありがとうございました。明日も熱い応援、よろしくお祈ります。 | |
| | | 15 第3セット 25 | | | |
| | | 17 第4セット 25 | | | |
| | | 第5セット | | | |
| | | | | | |
| 要約レポート | 2024年初のホームゲームで白星を掴みたいジェイテクトSTINGSと現在5位の日本製鉄堺ブレイザーズの一戦。 第1セット序盤、両チーム点を奪い合う試合展開。終盤、日鉄堺BZがバーノンの強烈なサーブでジェイテクトのレシーブを乱し、渡邊の連続ブロックポイントでリードする。ジェイテクトも粘りをみせるが、最後は手塚のサーブが日鉄堺BZ竹元にブロックされ、セットを奪われる。 第2セット、ホームで勝利をあげたいジェイテクトは、序盤から福山やウルナウトの強弱をつけた攻撃でリードをひろげる。日鉄堺BZはバーノンや鶴野の攻撃で応戦するも点差を縮めることができず、リズを掴んだジェイテクトがセットを奪い返した。 第3セット、日鉄堺BZは渡邊の速攻やブロックポイント、樋口のサービスエースで徐々に点差を広げる。ジェイテクトはウルナウトのブロックを利用したスパイクやコンビ攻撃で応戦するもリズムを掴むことができず、勢いにのって日鉄堺BZがセットを奪い返した。 第4セット、後がないジェイテクトはウルナウトのスパイクや手塚のサーブで相手レシーブを乱すもリズムを掴むことができず、日鉄堺BZにリードを許す試合展開。中盤以降、日鉄堺BZは松本の速攻や鶴野、バーノンの強弱をつけたスパイクで流れを途絶えさせず勝利した。 | | | | |

| | | | | | |
|--------------|---|--------------|-------------|---|--|
| 試合番号 : 189 | 試合会場 : 広島グリーンアリーナ (広島県立総合体育館) | 観客数 : 5,860 | | | |
| 開始時間 : 11:45 | 終了時間 : 14:07 | 試合時間 : 02:22 | 主審 : 戸川 太輔 | 副審 : 國頭 亮太 | |
| JTサンダーズ広島 | 通算 13勝 5敗 ポイント: 37 | 25 第1セット 19 | パナソニックパンサーズ | 通算 15勝 1敗 ポイント: 44 | |
| 監督コメント | 2 | 25 第2セット 23 | 3 | まず選手におめでとうと言いたいです。 JT広島も非常に良いプレーが多く難しい場面が多かったですが、途中交代の選手がエネルギーを持って来てくれたと思います。 西田とジェスキーの活躍も良かったです。 応援ありがとうございました。 | |
| | | 18 第3セット 25 | | | |
| | | 23 第4セット 25 | | | |
| | | 10 第5セット 15 | | | |
| | | | | | |
| 要約レポート | 新年初勝利を目指すJTサンダーズ広島と昨日の勢いそのまま勝利を重ねたいパナソニックパンサーズの一戦。 第1セット、序盤にJT広島は粘り強いディグからラッセル、新井がアタックを決めてリードを広げる。パナソニックは大塚、西田の攻撃で追いつけ見せるも点差を縮めることができず、JT広島がセットを先取した。 第2セット、JT広島はラッセル、江の攻撃、パナソニックはジェスキー、西田の攻撃で中盤までサイドアウトの応酬となる。終盤にJT広島がリ川のブロック、アタックで抜け出し、その勢いのままセットを連取した。 第3セット、後がないパナソニックは西田の攻撃を中心に序盤から流れを掴み試合を優位に進める。JT広島は代わって入った山本のサーブから連続ブレイクで追いつけ見せるも、パナソニックがジェスキー、西田の攻撃でJT広島を寄せ付けずセットを取り返した。 第4セット、JT広島は坂下の攻守にわたる活躍やラッセルのコースを狙った連続サービスエースなどで得点を重ねたが、パナソニックはジェスキーの強弱をつけたアタックなどで終始リードを守り、最終セットに持ち込んだ。 第5セット、JT広島のラッセル、パナソニックのジェスキーのアメリカ代表選手同士の打ち合いで接戦となるも、終盤にパナソニックは仲本のアタックなどで逃げ切り、フルセットの熱戦を制した。 | | | | |

※本票の著作権は、一般社団法人ジャパンバレーボールリーグに帰属します。